



R7. 2. 12 豊野小学校 保健室



昨年2月5日から6日にかけては雪が降り、こどもたちが雪遊びをしたと記録してありました。先日も降雪の可能性が報道されていましたが、結局こどもたちが楽しみにしている雪は降りませんでした。大人にとっては通勤・通学の心配などで厄介な雪ですが、こどもたちにとっては年に数回あるかないかの楽しみな経験です。北陸や東北の豪雪被害を考えると、とても心苦しいのですが…。

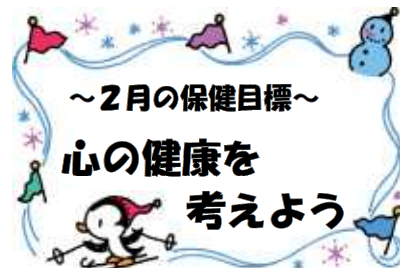
現在、新型コロナやインフルエンザなど、感染症の流行は見られません。最近の欠席状況は、次のとおりです。

	1/31(金)	2/ 3(月)	2/ 4(火)	2/ 5(水)	2/ 6(木)	2/ 7(金)
感染症や体調不良等	4人	1人	0人	1人	1人	2人
家庭の都合等	5人	2人	1人	1人	2人	1人

今後も引き続き、学校医の小林秀城先生の御指導をいただきながら、こどもたちへの指導や、体調不良者への早めの対応などに努めていきたいと考えています。

なお、新型コロナやインフルエンザなどと医師から診断された場合は、出席停止となります。お電話で結構ですので、すぐに御連絡くださいますようお願いいたします。

 (☎ 0480-72-3114)



2月5日（水）の朝会で、6年生の給食保健委員が、2月の生活目標についてお話をしました。

丈夫な体をつくるためにはどんなことが必要なのか、クイズに答えながら楽しく学ぶことができました。インフルエンザで学級閉鎖などにならないようにと、祈っています。

外であそんだ後、よごれていなければ、手をあらわなくてもいい。○か×か。

正解は、×です。

手には、目では見えないばいきんが、たくさんついています。

これは、手についたばいきんを調べる実験です。

①は、手をあらう前のばいきんです。1万個以上のばいきんがついています。

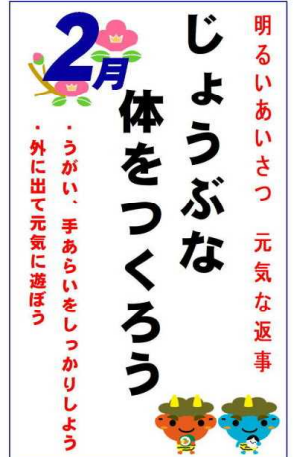
②は、手を水だけであらった後のばいきんです。ばいきんは千個までへりましたが、まだたくさん残っています。

③は、石けんを使って、1分間あらった後のばいきんです。ばいきんの数は208個までへりました。

この実験でわかるように、外から帰った後や、トイレの後、食事をする前などには、石けんで手をあらうことが大切です。



—2月の生活目標—



お子さんからうつらないように 家庭内の感染予防 4つのポイント

お子さんが感染症にかかり看病に追われ、治ったと思ったらご自身が倒れてしまった……そんな事態を防ぐための、家庭内でできる感染予防のポイントをお伝えします。

①. 手洗い・消毒

看病をした後は石けんで手洗いを。電気のスイッチやトイレの水洗バーなど、よく触るところの消毒も大切です。



②. タオルを共用しない

タオルを介した感染も多いです。ペーパータオルを準備しておく◎。

③. 食器はよく洗う

子どもの唾液がついた食器には細菌やウイルスが。洗剤でしっかり洗います。

④. マスクをつける

不織布マスクは子どもからの飛沫感染をある程度防げます。

先日、近所のスーパーで買い物をし、カートを押しながら駐車場へ出たところ、少しの段差に車輪が引っかかり、前のめりにカートと一緒に転びました。転んだ瞬間、スローモーションで景色が流れ、つましい段差やかごから飛び出るパンやお菓子たちが、はっきりと見えました。思いの外大きな叫び声だったのか、すぐに5、6人の人たちが集まって声をかけてくれ、散乱した品物を拾ってくれました。転んだショックや痛みもありましたが、「大丈夫ですか?」、「風が強いからね〜」などの慰めの言葉や、自分のためにたくさんの人が集まってくれたことがうれしくて、泣きそうになりながらお礼を言いました。人の優しさに触れた出来事でした。

ちょっといいこと

